

平成30年度 百合丘高等学校 年間指導計画

教科・科目	国語・古典研究	学年	第3学年	教科書	なし
		単位数	2単位	副教材	数研出版 八訂版「読解をたいせつにする体系古典文法」 桐原書店「新装版 ニューグレード古文 読解Ⅱ」

学習目標
 古典を読むことによって、日本の文化と伝統に対する関心を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を養う。
 (演習を中心に授業をすすめていく)

学習方法
 ○ 授業における課題に対して自ら考え、また、周りの生徒と共同で考える活動を行います。
 ○ 授業においては演習ワークブックを利用します。
 ○ 課題を定期的に提出したり、発表をしたりします。最後まであきらめずに取り組みましょう。

学習評価	評価の観点		重み付	科目の評価の観点の趣旨
	a	b		
	関心・意欲・態度		20%	言語文化や伝統に対する関心を深め、生涯にわたって古典に親しもうとする。
	読む能力		30%	古典の内容や形態に応じた表現の特色から思想や感情を的確に読み取り、生活や人生について考え古典に親しむ。
	知識・理解		50%	古典の理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c		
前期	平安時代を中心とした作品など (歌物語・随筆・日記・歴史物語、説話集、歌論など)	14	○1・2年次の文法事項について復習する。 ・用言、助動詞、副詞、助詞 (係助詞中心)	用言	○		○	a: 文法事項の定着が図れている。 b: 各作品における時代の特徴を把握しながら作品を鑑賞できている。 c: 文法事項を把握した口語訳や作品鑑賞ができている。	・観察 ・課題の提出 ・定期考査 ・小テスト等 ・授業内演習
				助動詞	○		○		
副詞、助詞	○		○						
(単元のまとめ) 課題・ワークシート提出による学習内容の確認	○	○	○						
前期		14	○古典常識を確認し、各作品を鑑賞する。	敬語表現	○		○	a: 敬語表現を理解できている。 b: 登場人物の把握と物語展開が理解できている。 b: 紛らわしい語の識別を理解し、それによる作品解釈が変わることを理解できている。 b: 物語の構成や展開を理解し、登場人物の行動や心情を理解できている。 b: 文章の構成に即して内容を的確に捉えらることができる。 c: 基本的な語句を理解できている。	・観察 ・課題の提出 ・定期考査 ・小テスト等 ・授業内演習
				登場人物の把握と話の展開		○	○		
長編物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情		○	○						
(単元のまとめ) 課題・ワークシート提出による学習内容の確認	○	○	○						
後期	上代および中世～近世の作品 (和歌および上代歌謡、記紀、評論・国学、随筆、日記、物語、戯曲、俳諧など)	18	・助詞を中心とした文法を学習し、作品解釈をする。 ・副詞(特に副詞の呼応)を理解し、作品鑑賞をする。	助詞			○	a: 古典常識を理解し、作品解釈や鑑賞に生かしている。 b: 長編物語の構成や展開を理解し、登場人物の行動や心情を理解できている。 c: 古典文法の把握、理解ができている。	・観察 ・課題の提出 ・定期考査 ・小テスト等 ・授業内演習
				副詞			○		
作品解釈・鑑賞	○	○	○						
(単元のまとめ) 課題・ワークブック提出による学習内容の確認	○	○	○						
後期		18	・文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典常識を確認し各作品を鑑賞する。 ・古文の基本語彙を習得し、各作品を鑑賞する。	和歌・歌謡			○	a: 随筆を読みながら、日本の情趣や日本的な思想を理解し各作品を味わうことができている。 b: 評論を読んで作者の思想や感情が理解することができる。 c: 文章の構成に即して内容を的確に捉えられている。	・観察 ・課題の提出 ・定期考査 ・小テスト等 ・授業内演習
				軍記、歴史、評論など	○	○	○		
随筆、日記、物語、俳諧など	○	○	○						
(単元のまとめ) 課題・ワークブック提出による学習内容の確認	○	○	○						
合計時数(55分授業)		64							